



VALORIZE ROTARY
COM
FÉ E ENTUSIASMO

ロータリーを高めよ 思いを尽くし熱意を尽くし

1990-91年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 パウロV.Cコスタ ●第256地区ガバナー 原 猛
- 会 長——小林九満太 ●副会長——渡辺 宏策 ●幹事——斎藤 弘文
- SAA——渡辺 喜彦、五十嵐 力 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477
(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替わります)
- クラブ会報委員——渋谷 正一、金沢 興宗、木許 紘一、池田 千秋

出席者会員数	会員 77名中 50名
先々週出席率	93.33% (前年同期 90.28%)
今日のお花	黄色スプレー菊、白色スプレー菊
ヴィジター	三条南より 永桶栄資君、菊地賢一君、丸田肇一君 三条北より 米山忠俊君、落合益夫君、外山晴一君、山下 厚君
ゲ ス ト	三条税務署 署長 米澤友宏殿
先週のメイクアップ	12/3 新潟北へ 捧 賢一君 12/3 三条南へ 吉井俊介君、近藤雄介君、小林敬典君、 鈴木宗資君、渡辺宏策君 12/4 三条北へ 小林英雄君、大谷幸平君、五十嵐昭一君
会長挨拶	小林(九)会長

先週の原ガバナーの公式訪問では皆様のご協力により無事終了することが出来ました。改めて暑く御礼申し上げます。本当に有難うございました。

おめでたいことを一つ申し上げます。藤田パストガバナーがこの度の叙勲で勲五等双光旭日章を授賞されました。クラブを代表して心からお喜びとお祝いを申し上げます。

本日の卓話は米澤三条税務署長さんです。ご静聴をお願い致します。

幹事報告 齋藤(弘)幹事

◎橋本ガバナーノミニ事務所より

1991～92年度クラブ役員委員会構成のご依頼が届いております。

◎原 猛ガバナーより 公式訪問に際してのお礼状が届いております。

◎水原ロータリークラブより 創立30周年記念誌「水原30」が届いております。

◎例会変更のお知らせ!

見附RC——12月13日(木) 忘年例会の為 於 太田家 PM7:00～

三条南RC——12月17日(月) 忘年家族会の為 於 VIP PM6:30～

三条北RC——12月18日(火) ファミリークリスマスパーティー

於 おくの PM7:00～

ニコニコボックス ¥18,000

- | | |
|--------|--|
| 小林(九)君 | 原ガバナーの公式訪問では皆様にご協力頂き有難うございました。 |
| 杉野君 | 会長、幹事、公式訪問よく出来ました。ご苦労様でした。 |
| 渡辺(宏)君 | ガバナー公式訪問に欠席責任をはたさず、皆様のお世話になりました。 |
| 平原(信)君 | ガバナー公式訪問欠席して申し分けございませんでした。おわびの意味で。 |
| 荻根沢君 | 新社名に再スタートさせていただきました。新社名はミッドです。宜しく御指導お願い致します。 |
| 松谷君 | 齋藤幹事さん新社屋落成おめでとうございました。 |
| 清水君 | 11月30日から昨日迄、3泊4日の台湾旅行に家内と参加いたしました。食物に大分苦労いたしました。でも楽しかったです。 |
| 小林(正)君 | 早退させていただきます。 |
| 丸山君 | 都合で早退させていただきます。 |
| 榎本君 | 友人6名で上の山温泉へ(ゴールデンツアー)行って来ました。車中で40歳代ですかと聞かれて帰って来るまで変な気持ちでした。 |
| 上木君 | 三条税務署の米澤署長さん本日の例会に忙しい所おいでを頂き卓話を頂きます事に感謝申し上げます。 |
| 轡田君 | 会長、幹事さん先週は大変おつかれ様でした。 |
| 渡辺(勝)君 | 米澤署長のご来会を歓迎して、先日の公式訪問の欠席をお詫びして。 |

卓話 三条税務署 署長 米澤友宏殿

・米澤署長の経歴とプロフィール

昭和36年12月5日、広島県生まれ、一ツ橋大学経済学部を昭和59年3月卒業、同年4月大蔵省へ勤務。その後銀行局、検査部等を経て現在に至る。その間アメリカスタンフォード大学へ留学。

・趣味と特技

ゴルフ(ハンディ14)、囲碁(4段)、スキー他と幅広い趣味の持ち主。

・卓話の要約

一年間の留学の中で日米関係の勉強をした。日本企業がなんでこんなに強いのか、アメリカの各地で勉強されている。又、そういう事を研究しているグループがある。日本の強さの尖兵は企業である。その日本の企業が何故強いのか考えてみると、大きく分けて3つの基本的違いがある。

一つは雇用制度、二つ目は企業戦略の問題、三つ目は組織の攻防のしかたである。

1. 雇用については、日本は終身雇用制度が大きな特徴である。技術、技能者或いはホワイトカラーであっても一つの企業を貫らぬものであるが、アメリカでは2～3年の契約で実績を残して転職する転職社会であると思われるが、ほんとうでもあり違っている点もある。例えばゼネラルモーター、フォード社でみられる様に工員さん達はゼネラルモーター、フォードで終わる人が多い、然しサラリーマンの人達は入社した時から役付となり年俸10万ドル位から始まり2～3年で少しでも年俸の多いところへ転職を繰り返して行く。中には40歳台位で100万ドル位を得る成功者もいる。そう云う人達はその後退職し、フロリダ辺りで悠々自適な生活を送っている人も少なくない。従って日本のサラリーマンと違って企業への忠誠心が非常に薄い。
2. 企業戦略の問題については、日本では企業の存続を第一に考えるが、アメリカでは自分の在職中頑張って成績を上げていけば良い。退職後の事は企業が駄目になってもそれは後任者の責任であるからと云う考えの中で、短期的に利益を求めれば良いと考えられている。
3. 組織の攻防のしかたの違いについては、組織図的な上下のつながりは日米同じ様なものであるが、下部で一つの問題が生じた場合、日本の組織ではセクションの管理者と他のセクションの管理者間に非常に強い横のつながりがあり、別の分野の問題であっても容易に解決されるが、アメリカの場合は任務がはっきりしており自分の任務以外の問題は、はっきり否定される。云いかえるならば、日本は任務と権限があいまいであるが、アメリカでは明確になっている。



以上、日米の3つの基本的違いを上げてみたが、結論から云えば日本企業の強さは、日本の民俗的じゃなくて日本的経営技術にあると云える。今アメリカでは、その日本企業の強さである経営上の技術の研究がブームになっており、それを目指している企業が多い。日本に追い付こうと思えば追い付けるし、又、追い越そうと思えば追い越せる状態にある。そしてアメリカの持っている自由と独創性を生かしてくれれば再び日本を圧倒する事が出来るのである。

12月12日例会 卓話 細井増雄会員

12月19日例会 忘年クリスマス家族会 於 VIP PM6:00~

12月26日例会 卓話 池田千秋会員

PolioPlus



“開発途上国の新生児を対称に
ワクチン投与資金協力を”